



吉原美智恵議員

### 大山町の子ども教育

#### 親の願いは理解

**問** 昨年9月に「大山町子ども振興計画」が策定された。子ども教育を総合的、系統的に進めようとしていることは、県内でも画期的で期待している。

計画の中に「放課後児童クラブ」が重点項目に入っている。4月から有料化となり、これまでの

おやつ代程度のものから数倍となるようだ。親の意向で行けなくなる子どもができるのではないかと少子化の中で、子どもは大切な宝である。クラブを充実させるようであるが、行ける子、行けない子の差が大きくなるのではないかと。また、計画の中に、「乳幼児とふれあ

う機会の充実」とあるが、以前に提唱した「コミュニケーション授業」にならぬのか。

**答** (山田教育長)

放課後児童クラブは、働く保護者のかぎっ子教室のようなことが出発点である。その願いも十分理解しているが、料金は、必要経費の10〜12%の負担をお願いしたい。負担率は、近隣市町村に比べ低い方である。実際に2人目は半額になり、計4500円、3人目は計6000円で、実費負担程度になる。



子どもたちの未来は (あすなろ児童館)

コミュニケーション授業については、大山中学校の家庭科の授業で、モデル事業として計画、予算化している。成果も見ながら、他の中学校にも拡大していきたい。

### 「大山町民」としての一体感を

#### 後世に引き継ぐ取組み

**問**

大山町が発足して2年が経った。これからのキーワードは、地域力と協働であると思う。また、行政と住民の認識の共有も重要なポイントであろう。その大前提として大山町民としての一体感も必要ではないかと考える。

(1) 町民歌を制定し、例えば「大山賛歌」等、行事の時に皆で歌ってもよいのではないかと。

(2) 現在、各地区ごとの文化祭の行事が開催されている。年に一度は文化祭や、盆踊り大会等、これ



大勢の町民が集う文化祭に

まで培かったそれぞれの地域の文化の違いを感じながら、同じ場所に会するというのも必要ではないかと。その中で自分の住んでいるところの良さを再発見し、地域力を高めていくことも大切ではないかと。

**答** (山口町長)

(1) 町民歌は、老若男女、誰もが親しめるとい

とがまず基本であろうと思う。「大山賛歌」は、親しみを持って自分も歌っている。住民の皆さんに理解を求めていく。

(2) 文化祭は早く一本化した方がいいという思いは持っている。大きくなることで活動が絶えないようないしなしかけも必要である。

盆踊り等、伝統芸能も後世に引き継いでいける取り組みが大事だと思う。